阿知須町広報

阿須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　中尾　岩雄
編集人　土本　源一

印刷所
宇部新聞印刷所
宇部市東区五反田通
電話1725番

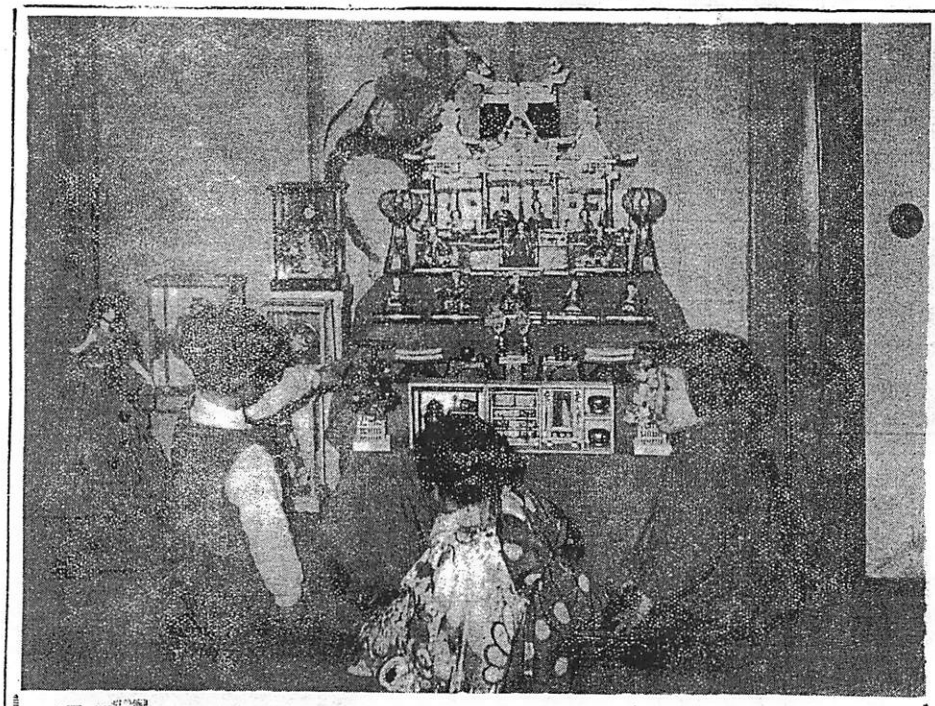
ウラン鉱資源の探査

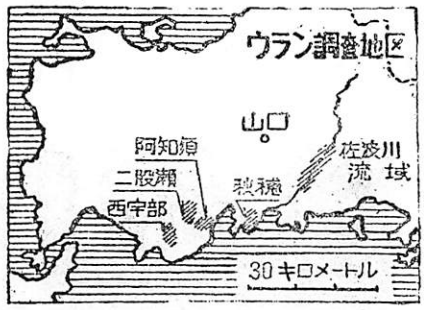
通産省技官五名來阿

さきに各新聞紙上でも発表されたように、通産省工業技術院地質調査所では原子燃料（ウラン鉱）の探査に本月七日ごろから一カ月間飛行班と地上班応して、本町ラジウム温泉地区を中心に県下の一部地区を探査することになつた。地上班は通産省技官、堀川義夫外四名で、宿舎は阿知須ラジウム温泉におき、ジープで放射能探査を行ない、ペグマタイト等、自動車にシンチレイション・カウンターを取付けて、この付近一帯を調査する。

一方飛行班は日ペリ航空会社機で、岩国を基地として阿知須呼応して、本町の調査に乗り出すことになつた。県でもこの調査には積極的に協力して原子燃料としてクローズアップさせ、県の産業開発に役立たせようと張り切つている。

なお本町でも地区関係者への協力方を望んでいる。





ひな雛　まつり祭

☆暦三月三日の上巳の節句に、女児のある家庭で宴を作り、ヒナ人形に種々の調度を添えて飾り、近親友人を招き白酒を酌んできよう応すること。一名「ヒナ遊び」◇

古くは季節を定めて祭ることはなかつたが、後土門天皇の御代に上巳節句をヒナ祭りと定め、徳川時代には五節句の一となり、男子の端午に相対した。

春は火のもと御用心

全国春季火災予防運動

自二月二十八日→至三月十三日

一年中で火災の発生する時期は春が圧倒的であります。永い冬の寒さから一歩進めて、火を出さない、燃やさない工夫と用心に二層の注意が望まれるのであります。

特に野火には細心の注意をして山火事にならぬよう、タバコの吸殻を捨てるときや、たき火をするときは危険のないところを選び跡始末を完全にしておきましょう。

こうして私達の努力でおそろしい火災を追放し、平和で文化的な明るい郷土をつくりましょう。

【尊い家財を災害から恐しい火事現場】

一年中で火災の発生する時期は春なんといつても春が圧倒的であります。永い冬の寒さから一歩進めて、火を出さない、燃やさない工夫と用心に二層の注意が望まれるのであります。

特に野火には細心の注意をして山火事にならぬよう、タバコの吸殻を捨てるときや、たき火をするときは危険のないところを選び跡始末を完全にしておきましょう。

こうして私達の努力でおそろしい火災を追放し、平和で文化的な明るい郷土をつくりましょう。

【尊い家財を災害から恐しい火事現場】

交通事故をなくしましょう

小郡警察署長

交通事故を防止するには運転者は勿論歩行者が道路交通についての「きまり」を守りもう少し注意を払うことが大切ですが最近発生した交通事故原因から考え特に次のことに注意していたゞきたいと思います。

一、人は右車は左の対面交通を必ず守つて下さい。

二、自動車のすぐ前や後を横切らないようにして下さい。

三、急く用事があつても待つてよく安全を確めて通るようにして下さい。

四、最近自転車と自動車との衝突事故が多くなつて居ります。一人乗りの自転車に二人乗ると不器用にして事故あれば一人ですむことが二人怪我をすることになります。二人乗りは必ずやめて下さい。

五、自動車の運転手さんは事故を起さないよう定められた速度を必ず守つて下さい、酒を飲んで車を運転するような危い運転は絶対やめて下さい。

六、夜間の交通事故は昼間の事故より特に大きいのが特徴です、運転される人も一般の通行者も特別な注意を払つて下さい。

土地改良事業の現況

▲山口県の米の需給状態は、大体百六十万石必要なのに、県内の平均生産量は百三十万石程度で、約三十万石も不足しています。

▲ところで県下に九万二千八百町歩の耕地がありますが、このうち六割強は不良耕地のため県内米の平均反収は一石九斗九升のスキに、大災害を起す結果となります。従つて春は冬の火を扱う時期より比較して火災の発生件数もはるかに上回っています。

このように春は自然現象の影響に支配され、火災が目に見えて増えてきます。その怪とんどが不注意によるものですから、更に一段と心を引しめて火の用心を、もう一歩進めて、火を出さない、燃やさない工夫と用心に二層の注意が望まれるのであります。

県政だより

▲県が関係する主な事業を掲げますと、県営かん漑、排水事業は現在七カ所で行つており、十四億四千円で　五千二百余町歩の耕地改良をして、米増産約二万石の増収を計っています。

▲さらに干拓事業は八億八千余万円で県下三カ所に実施中で三百九十三町歩の耕地を作り、一万三千余石の増産をもくろんでいます。

▲また県が指導補助し百四十三カ所で土地改良区等が、六千二百余町歩の改良事業を行い一万五千石余の増収を期しています。

▲土地改良事業は新農村建設の基として、懸命に努力しているところです。

広報紙コンクール

本町は第一位に入選

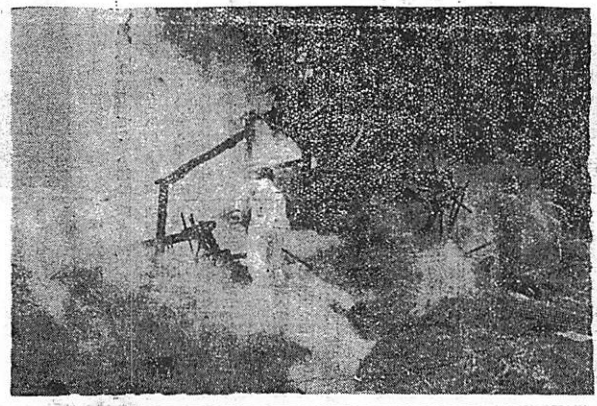
第二回山口県広報紙コンクールの入賞発表は、一月十七、十八日の両日県庁職員会館で開かれ山口県広報大会の席上で公表された。この審査は昨年の広報紙の中から出来栄えのものを一部出して県民室で、例付　見出し、文章、写真取材の各部門ごとに慎重な予審を行い一月九日、協議会運営委員会で最終的に審査が行われた。

応募点数

都市部一類　十点
町村部一類　三十一点
〃　二類　五点

入選

都市部第一類（活版広報紙）
特選　宇部市　一席下関市
二席　徳山市
町村部第一類（活版広報紙）
特選　大内町
入選第一席　阿知須町
二席　阿武町
三席　油谷町
四席　旭　村
町村部第二類
特選　由宇町
入選　田布施町



「タバコ」は町内で買ましょう

辞令

一月一日付

阿知須町総務課勤務を解き阿知須町観光企画課勤務を命ず
田辺正一

二月一日付

阿知須町備人　林　初太郎
阿知須町雇員に任用し阿知須ラジウム温泉場勤務を命ず
阿知須町備人　伊藤徳一
阿知須町雇員に任用し阿知須ラジウム温泉場勤務を命ず
阿知須町備人　林　道子
阿知須町雇員に任用し阿知須ラジウム温泉場勤務を命ず
阿知須町備人　岩本昌子
阿知須町雇員に任用し阿知須ラジウム温泉場勤務を命ず
阿知須町備人　西村節代
阿知須町雇員に任用し阿知須ラジウム温泉場勤務を命ず

卒業

☆三月は卒業の月。卒業式を目本では卒業を卒える式と書いてゴールインを祝っているが、アメリカでは新しい人生勉強の門出の式として、そのスタートを祝うというとは去る三月一日宇部高校の大前校長の式辞の一端である。

☆言葉への解釈は色々に出来る卒業に当り過去を顧みて、謙虚に反省する人は、おのづから前途への新しい構造を描くことが出来希望が旅々と湧くに違いない筈である。

☆大学を卒業したので、勉強はもうおしまいと考へる優等生と、大学を出て更にもう四年、八年とたゆまず勉強をするドベとがあつたとするなら、何年かの後にはきつとドベの方が優等生になるに違いない。

☆学校を一番で出た人でも刑務所に入る人があり、ドベで出た人が一大発明をすることもある。人生は死ぬまでのマラソン競争である。卒業式とは競争中、一寸お茶の接待をうけたようなもので、まだ勝負は決定していない。

☆三月は卒業の月であると同時に進学受験の月。進学についても右のようなことがいえる。

☆お前のように不勉強な奴は、××学校しか入れないぞ。と子供を叱る親がある。そしてその子はその親のいう○○学校という良い学校へ入れず、××学校という悪い学校へ入つたりする。

☆その子は入る前から、自分の学校をつまらぬ学校であると親から教えられていた訳である。親劇だ。

☆学校にはどこの学校もその学校が存在している特長がある。親は子に上級の学校の特長がなるべくやり、子の性質をよく観察して。その性質が生かせる特長のある学校へ子を入れるようにすればよいのである。

☆親の務めは子の進学する学校を子と相談して最も適当に選んでやることである。

☆所謂よい学校を出てもくたらぬ人間があり、所謂わるい学校を出ても立派な人間がある。学校等行けなかつたのに高い学識と人生を犯してはならぬ、

所得税の確定申告とは

第三期分納税は

三月十五日までです

申告と同時に税金も完納致しましょう。本町出張受付は自三月四日ー至三月八日まで、毎日午前九時ー午後五時まで

（町議会議場山口税務署）

今年のベビーアジスは

裕子ちゃん（岩上　藤重良治氏長女）

一等の裕子ちゃん

本年の赤ちゃんの健康診査と優良児コンクールは二月二十五・二十六日両日醫事室で開催、今年の該当者は百三十名で参加者は八九名であった。

審査については山口保健所から三浦医師、山内、森島保健婦来場前日予選で三十二名が選ばれて更に精密診査の結果、入賞者九名が選出され町長賞が贈られた。今年の入賞者はつぎの通り

一等　保護者

岩上　藤重裕子（良治氏長女）

二等

細北　湖崎八重子（一雄氏）

小南　横本勝夫（三治氏）

三等

細南　石川文子（二郎氏）

岩辻　高岡由合子（正夫氏）

仙台　中戸良弘（剛氏）

四等

細南　湖崎京子（文男氏）

砂三　兼重学（勇氏）

エビス細谷慶美子（義男氏）

入学前のしつけ

第二の誕生日にも尊しい小学校入学を目前に控えて、保育園の手供も何んとなくわくわくした表情をしています。家庭でもしっかりと預備をされていることでしょう。

晴み聲きについては、精神的にも肉体的にも発達の段階が一人一人異っていますから、余り無理な指導をされてはいけません。

学校は社会集団の生活をするところですから　入学前にかしずつ社会性を育ててやりましょう。人に迷惑をかけず他人に対して親切にするようなお性質に家族の音で導いてやりましょう。

次に自律と奉仕のしつけを十分身につけさせましょう。自分の寝床をあげたり、自分の机の中や、本、持物などは自分の手で仕末をするように教えましょう。

「ワンワン、モウモウ」等の幼児語を使っていましたが、今のうちにそろそろ正しい言葉づかいを教えておきましょう。

学用品はぜいたくなものや派手なものはさけて実用的なものをそろえてやりましょう。虚栄心をかき立てるようなものはいけません。

楽しく事故のない修学旅行を

春の訪れと共に修学旅行も増えてきます。こうした旅行には騒喧嘩等何かと事故が起りやすいものです。

せっかくの待ちに待った楽しい旅行も事故が起きては台無しです。

そこで今年の旅行は次のことと注意し合いお金はしっかりしまっておきましょう。

また、旅行中はとかく喧嘩が起り勝ちですが、これが時には傷害殺人にまでなりますから、先生方は生徒の持物について絶に指導監督を充分にして下さい。

旅行というと、とかく風紀上の問題も起りがちです。自由行動の時間や門限を厳守しお互が協力して不詳事の起らないようにしたいものです。

さらに旅行といえば田舎から都会へ出る場合が多いようですから規則正しい集団行動をとって交通事故をなくしたいものです。

馬。緬羊・山羊ダンゼン優秀

阿佐設連合審査共進会二月二十三日午前九時より佐山小学校で開催され、三カ町村から出品は予想外に多く集り熱況裡に終了したが本町からの出品入賞した主なものは次の通り。

◎役馬の部　一等、林文一、三等、竹重芳寄　兼重喜一、四等、竹原陽一

◎緬羊の部　一等、渡辺融

◎山羊の部　一等、高重唯一

写真は入選者

『冬の味覚』に精進する

阿知須産〝あさひ海苔〟

本町の名産の一つ「あさひ海苔」が誕生して早くも八年、この海苔が京阪市場に出廻るまでの、組合員指導者の苦労は、並大低ではなかったのです。

阿知須の人気男、故西村敏逸氏はその草分けで工藤、長久両氏に「俺達はあんた達にこの海苔の養殖を教えておいたら死んでもよい」の言葉は遂に遺言となり、同氏の胸底深く刻み込まれ、海苔の養殖に努力してきたのであります。

鷗川沖からの種付養殖、或は遠く千葉、愛知両県からの海苔等々色々優良品種の移殖も試みましたが「青、そのた」の附着が多いためか、私達熱意の経験が浅いのか、ことを毎に失敗に終りました

先進地の視察、良質海苔の研究等今日までの組合員の苦心は誠に涙ぐましい程で、結局現在では種は地元一本でどうにか成功の域にあり、今年は幸い海苔生産組合も出来、共同出荷にも数量こそ少いが、品質は他の追従をゆるさぬ出来栄えです

又私達漁業者にとっても冬の閑漁期にはなくてはならない「海苔」です。

先進地の海に一ぱい建てられたノリヒビを見るとの阿知須の沖もまだまだ海苔場は広いものです

年毎に養殖業者も増えて、鷗川二島の様に多量出荷の日も遠からじと張りきっています。

隣にラジウム温泉、海には尽せぬ宝庫　栄えゆく阿知須の冒険どうか、産阿知須の発展に御期待下

ノリの乾燥風景

春の緑化運動

郷土を緑の楽園に

三月一日から四月十日までの間に、全国一せいに第八回「郷土緑化運動」が展開されます。

この運動を通じて一日も早く山野、私達の環境を緑にして森林資源を確保すると共に、緑に満るさわやかな街や職場、さらに家庭を通り明るい幸福に潤ち潤った生活を築きあげてゆきましょう。

すべての人が一人々々郷土を愛する心掛けでやってこそ、初めて成果があげられるものであります。人の命は短く人類の歴史は長い。今植える樹は明日に果らずとも、やがては見上げる樹蔭る大樹となり、花咲く美しい木となって後の世の人々の心を豊かにすることでしょう。

市街地や沿道等の緑化には町民の保健衛生のためにも、情操環境等にも非常に大切なことで、生活の重荷に疲れた人々の身心を癒し、勇気を与え、歓びと希望をもたらすことでしょう。

この意義深い運動を更に進展するため、この期間中「緑の羽根募金運動」が進められるわけです。わずかなお金も出し合って一人残らずこの運動に参加しましょう。

トピックス

◎阿知須漁業協同組合の三十二年度通常総会は三月二十八日旧組合事務所において開会した。

◎西条東定能氏は二月五日付が都大学より医学博士の学位を付与された。学位論文は「鳥類以下の背髄動物における遺伝組織の系統学的研究」

◎西日本新聞紙八十周年記念の西日本郷土芸能大会県予選の人気投票ベスト、テンは昨年末から県内十八種目について投票が開始されていたが、二月十日締切られた阿知須小古呂の神楽は一、三二七票でトロロに人選した。なお十七日には県の第二回民族芸能大会に出演する。

◎宇部市農業委員長、宇部市農業委員会副委員長、宇部市農業委員由井久次氏は昨年十月歌集「畑」を発刊した。価二五〇円。岬台あらつち社発行。同歌集一四五頁に阿知須町関荒弘君一氏を含めて次の短歌がある。

馬車きも木株も農奴もやつて来たよと荒弘さんはたんたんという。

阿知須の宮の社に桜も植えたりし荒弘さんを吾は思ふも

金鳥賜盃御下賜のさまも語り出づくめどもくめども酒は尽きざりき

◎町内各校の卒業式は

阿小校　三月二十二日　阿中校　三月十五日　井小校　三月二十三日

◎第四回町内親睦囲碁大会は二月十日（日）午前九時より町職会場で行われ熱戦の結果B組山根和大雄さんの優勝が決定、優勝の山根さんに賞品、賞状（二位迄）が公民館長より贈られた。

◎恒例の第三回近郊駅伝競争大会は、二月二十四日（日）絶好の駅伝日和をむかえて十二チーム参加のもとに午前九時小郡町公民館前を出発岡知須町、背年別もゼッケン2を大書く胸につけて出場、手に汗握るような熱戦の結果、阿知須チームは通算五位、一般三位の成績をうってゴールインした。

公民館だより

冬期スポーツの最後を飾る第七回町内一周郡駅対抗駅伝競争を左記のように実施いたします。

日時　三月二十四日（日）午前十時町役場前出発

参加選手は前回と同じく、小中高各学生一名宛を含め、三十歳代一名を合わせてチームを組織するが詳細は後日お知らせします。

町公民館では二つのことを考えています。

図書室庫を設け多くの町民の方々に閲覧頂いていますがこの上ともどもし利用され個々の教養を深めていただきたい。

ほとんど毎月のように吉佐事務所より視聴覚教育のため映画が巡回して来ます。この映画は各部落を巡回して上映しますが経費の面で部落負担は一切ありませんので希望者は町公民館までお知らせ下さい。

二月月阿知須婦人学級は山口農事試験場見学のため先生を講師に二十五日午後一時半より公民館で開催、会員約百二十名

先ず人間の共通的な心理、生活など詳細な講話があり、職場と人間が見るために真剣な価値追求を所より視聴覚教育のため映画が巡回して来ます。この映画は各部落を巡回して上映しますが経費の面で部落負担は一切ありませんので希望者は町公民館までお知らせ下さい。

二月月阿知須婦人学級は山口農事試験場見学のため先生を講師に二十五日午後一時半より公民館で開催、会員約百二十名

先ず人間の共通的な心理、生活など詳細な講話があり、職場と人間が見るために真剣な価値追求を

し、常に人間らしく生きることを目とし、努力しよう。そのためにも健康第一である。日本の農村に於いては簡単に得られるにもかゝわらず野菜を食べることが少い、一日野菜は百匁が必要、菜食を徹底してりっぱな人類生態を築きあげようとの有意義な講話があり、十大時修了

新生活運動の一環としての結婚改智は、今度県が新たに制定した基礎に添って強力に推進したいと町公民館では考えています。

結婚改智は単に結婚婚姻繁化に止まらず人間と社会改革の過程として行わなければなりませんがこの運動の新進的な発展をはかるため結婚婚姻繁化に重点をおいています

県の基準は（一）婚約にあたっては健康診断書をとりかわすことを原則とする。（二）結納、土産物などは金額を理想とする。（三）調度品は新生活に必要なものみに止め、荷運びは式後行う。（四）新郎新婦の式服は新調せず新婦の色直しは廃止する。（五）式はゆうと入りを省いて日中に行い簡素厳肅を旨とする。（六）祝宴は日中簡単に行い、近親者その他最小範囲に止める。

◎講師　友広保一先生（アラライ同人・「なぎ」主宰）

◎日時　三月二十四日（日曜）

◎場所　浜区　宮重商店

◎短歌　二首以内を二十日迄に町公民館宛

◎短歌を出されない方も自由に御出席下さい。

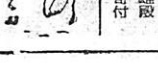
第九回歌会予告

寄付一件

金弐千円也

福岡県若松市東新町一六〇　上野　正雄殿

右は町広報紙郵税として寄付



婚姻の部

夫　妻　市　地　祝　婚

藤永正治　三男　勝秀　小西　南蛮

富岡彩夫　長男　恵子　西条　蛮

藤重光雄　長男　勝治　引野　蛮

林　幸年　長男　恒幸　赤迫　蛮

高橋紳二　長男　清二　細北　蛮

岡崎計一　長男　博昭　杖川　蛮

出生の部

父　母　出生児　部落

死亡の部

死亡者　死亡月日　年令　部落

中村蔵之進　1月27日　86　岩辻

中川ツル　1月28日　70　河内

中西ナツ　1月29日　82　中村

大田りヨ　1月29日　87　引野

咲花五郎市　1月30日　84　河内

岡沢トキ　2月1日　74　慶比須

西田冤一　2月6日　31　赤迫

磯部ムツエ　2月7日　65　寺河内

藤重鶴蔵　2月9日　27　且北

中野マシ　2月10日　50　岩前

植村正夫　2月21日　30　且北

清部三成　2月23日　1　仙在

江本チヨ　2月27日　81　源河

お詫び

おらが村のナンバーワンは紙面の都合により休載致します。